

ベトナム人材市場から独自のニュースを毎月お届け！！



# HR-Link ニュースレター

2019年10月号

## 外国人ビザの更新：一時出国が不要へ

国会国防安全委員会はこのほど外国人のビザの手続きにおける簡素化を進める法改正の方針を発表した。現行ではベトナム国内での雇用関係に基づきベトナムで就業し始めて、後から労働許可証を取得する場合、そのビザの申請者は一度国外へ出国する必要があった。改正後はこの一時出国をなくす方針だ。

公安次官は「現行のシステムはビザの申請者だけではなく雇用元の企業にとっても時間や費用などにおいてマイナス面が大きく、生産的ではない」と述べており、10月に開かれる国会で審議される見通しだ。

## 新設企業数：ベトナムが東南アジアでトップ3入り

オーストラリア貿易投資促進庁によると、新規設立の企業数においてベトナムが東南アジアでトップ3に入った。ベトナムでは2011年から新設企業の数が増加しており、2012年の400社から2015年に1800社、2017年は3000社というペースで増えている。

また2016年以降はコワーキングスペースやスタートアップ向けのプログラムの増加も顕著で、この背景としてはベトナムの若年層の人口割合が大きいこと、インターネットやスマートフォン使用者が増えていること、ベトナム政府が新規設立する企業に対しての支援を積極的に進めているという点が挙げられている。専門家によると新規設立企業には大きなポテンシャルを秘めているとのことだが、資金調達や人材確保、人材育成、知的財産に関する問題などの課題が多いとも指摘されている。

### 目次

#### 特集記事

外国人のビザの更新	1
外国人訪問者の多い都市	2
ベトナム人のフィットネス事情	2
ベトナムの大気汚染	3

#### 今号のハイライト

時事ニュース	2
街角便り	3
今月の一品	4



## ハノイ、ホーチミン：外国人訪問者が多い都市にランクイン

米クレジットカード会社マスターカードが調査した外国人訪問者が多いアジア太平洋地域の都市トップ 20 によると、ハノイが 15 位、ホーチミンが 18 位にランクインした。

トップ 5 はバンコク、シンガポール、クアラルンプール、東京、ソウルとなっており、これからの合計は全体の 22%を占めている。またバンコクは世界で最も外国人訪問客が宿泊した都市となっており、この数は今後も増えていく見通しだ。また 2018 年にはハノイを訪れた外国人は平均で 3.8 泊、ホーチミンでは 5.3 泊したとなっている。

外国人が一人当たり各都市部で支出する額として、ハノイは約 8400 円、ホーチミンで約 1 万 600 円と発表している。東南アジアの各都市部と比べて支出額が少なくなっており、シンガポールの 2 万 9400 円、バンコクの 1 万 9900 円、クアラルンプールの 1 万 5300 円などと比べても明らかだ。

今回の調査対象都市ではいずれも外国人訪問客数が増えているが、その要素の一つとして中国人旅行客の増加が挙げられる。外国人訪問客の 18.2%が中国人で、国籍別では一番多い割合だ。

## 時事

### ハノイ、ホーチミンの大気汚染：世界 1 位と 3 位に

大気汚染の度合いを示す空気質指数というものがあが、9 月 26 日の 8 : 50 の時点でハノイが世界 1 位に、ホーチミンが 3 位となってしまった。これまでインドネシアのジャカルタが 1 位になることが多かったが、今回のベトナム 2 大都市が 1 位と 3 位になることにより、同国の大気汚染の深刻化が浮き彫りとなった。

この空気質指数は 6 段階の評価で指数が 100 を超えると敏感な人にとっては健康状態に問題が出るレベルとされている。同時点のハノイでは数値が 204 ということで、全 6 段階中 5 段階目にあたる「極めて健康によくないレベル」にある。一方ホーチミンでは数値が 173 と 4 段階目にあたる「健康によくないレベルであった」

こういった大気汚染が続く状況の中で、外出時にはマスクを着用する旨や屋外での運動などを控えるような注意が呼びかけられている。

## ベトナム人のフィットネス事情

日頃の運動不足解消のためにジムを利用している人も多いかと思えます。ベトナムには最新の設備を導入しているジムもあれば簡易的な器具のみを置いている激安ジムなど様々ですが、年々フィットネスに対するベトナム人の関心度は高まっています。今回はベトナム人のフィットネス事情についてご紹介します。

### ・運動に対する意識の向上

運動設備があまり充実していないベトナムでは運動による健康維持に対して意識することがあまりありませんでした。どちらかという食べ物に対する栄養摂取に関心が行きがちで、食べすぎに対する肥満などは最近の話です。近年の食の欧米化などから肥満や生活習慣病などが取り上げられるようになり、定期的な運動の必要性を認識されるようになってきました。

### ・青空ジムの存在

体を鍛えるというよりは健康維持のために公共の公園に簡易的な運動器具が設置されているところも多いです。こういった公園では主に初老の男性がよく利用しており、憩いの場としての意味合いもあるようです。また女性向けに野外でのエアロビクスなども行われており、真夏の夕暮れ時に汗だくになりながら大音量の音楽に合わせて踊っている光景は見て中々の迫力があります。

### ・筋肉トレーニングの誤解

現在はジム通いをしている人も珍しくない時代になりましたが、それでも筋力トレーニングに対する知識はまだ浸透していないようです。例えば女性にとって筋トレは体が太くなるものと認識して嫌う人は現在でも多くですし、脚の筋トレなどをもっての外と考えている人もいます。やり方次第でより美しい体を手に入れることができるジムトレーナーが必死に勧誘している光景もよく見られます。

余談ですが以前、あるベトナム人から日本の女学生は脚が太いと指摘されたことがあります。その原因は日本特有のクラブ活動のせいじゃないのかと聞かれましたが、実際のところはどうなのでしょう？ 成長期の学生ですからその後どうともなると思えますし、その時期に運動を全くしないよりは体の発育上いいとは思いますが。。



## ベトナムの大気汚染について考えること

目覚ましい経済の発展を遂げているベトナムですが、それに伴い都市部の大気汚染は深刻な状況になっています。現在政府主導で状況の改善を図るため、様々な取り組みが始められていますが、その効果はまだ実感できるような次元には至っていません。今回はベトナムの大気汚染について記事にします。

### ・ハノイ、ホーチミンを中心に大気汚染が深刻化

ベトナムではハノイ、ホーチミンを中心に大気汚染が深刻になっています。空気の汚染度を測る数値がありますが、ハノイは特に深刻で東南アジアでも最も汚染が深刻な数値を記録することもあります。一昔前は大気汚染と聞くと中国の北京が連想されましたが、今のハノイはそれに匹敵する汚染度と言えそうです。

### ・日常生活でも汚染を感じる

PM2.5 などのように目には見えない微粒子の他、建設の土砂など目に見える砂塵も多くあります。例えばベランダなどで砂埃が溜まる速さは日本の比ではありませんので長時間洗濯物を外に干すのも考え物ですし、道を歩くだけで靴が砂まみれになるので少しいい革靴を履くのにも抵抗があります。こういった建設の土砂が原因とされるものについては政府も取り締まるようになり、例えば建設現場での土砂の扱いや、土砂の運搬に対して一定の規定を設けるようになりました。



## 街角便り



ベトナム人の SNS 利用時間：  
1 日 143 分で減少傾向

イギリスの市場調査会社によると 2019 年度のベトナム人における 1 日当たりの SNS 使用時間は 143 分と発表している。前年と比べて 10 分減少しており、2 年続けての減少となった。

ベトナム人の SNS 使用時間は 2012 年から 6 年続けて増加していたが、この 2 年間は減少傾向にある。この理由として 2012 年から 2017 年の過去 6 年間についてはスマートフォンの普及が急速に進んだという事情が考えられる。現在ではスマートフォンの所有者の割合の変化に一定の落ち着きが見えたところから減少に転じたのではという見方だ。東南アジアではフィリピンが 1 日 241 分と最長で、日本は 45 分と調査国対象国 45 か国の中で一番低い水準にとどまっている。1 位から 10 位までは以下となっている。

- 1、フィリピン (241 分)
- 2、ブラジル (225 分)
- 3、コロンビア (216 分)
- 4、ナイジェリア (217 分)
- 5、アルゼンチン (207 分)
- 6、インドネシア (195 分)
- 7、アラブ首長国連邦 (191 分)
- 8、メキシコ (190 分)
- 9、南アフリカ (190 分)
- 10、エジプト (186 分)

## 今月の一品



米煎餅

(lòng non xào dưa chua)

今月は米煎餅です。日本でも似たようなものがありますが、コメ文化のベトナムでも食べられています。日本の煎餅は醤油ベースの味付けになりますが、こちらのものは魚醤の他、豚肉を乾燥させたものを散りばめたものなど色々なトッピングをされたものも多いです。

ハノイから 2 時間ほど南へ下ったニンビン省の特産で、ニンビン省出身の人が身近にいる場合はお土産で頂く機会もあるかもしれません。おやつ感覚で食べられますが、やはり米なので結構おなか膨れます。ハノイのスーパーなどにも売っていますので一度ご賞味ください。

一袋 50000 ドン (250 円) 程度

## お問い合わせ

### HR-Link.Vietnam

15Fl., TTC Bldg., 19 Duy Tan St., Dich Vong Hau Ward, Cau Day Dist., Hanoi (ハノイ本社)

553 Xo Viet Nghe Tinh, Binh Thanh District, Hochiminh City (ホーチミンオフィス)

東京都中央区日本橋箱崎町  
32-3 11F 日本 HR リンク株式会社 (日本拠点)

Tel: (84-24) 3795-7037 (ハノイ)

Fax: (84-24) 3795-7038 (ハノイ)

Web: <http://hr-link.com>

HR-Link.Vietnam は、人材紹介事業を通じて企業の事業拡大と個人の自己実現をサポートし、豊かな社会づくりに貢献します。

### ・大気汚染の中でのランニングは健康か

こういった大気汚染の状況下でも街をランニングしている人をチラホラ見かけます。場所によって空気のきれいさは若干差があると思いますが、同じハノイ市内でランニングをすることは健康的なのでしょうか、あるいは不健康なのでしょうか。あるイギリスの研究者の話では大気汚染のひどい地域でのランニングは、体を鍛えることができても気管支系への影響が懸念されるので、メリットとデメリットを享受することになるとのことです。



### ・まずは目に見えるレベルでの改善から

目に見えない微粒子を抑える前に砂埃といった目に見える単位の汚染を除去することが先決となりそうです。20 年ほど前はそのようなことはなかったということです。現在の建設ラッシュが影響を与えているといっても過言ではないでしょう。このラッシュが落ち着くと状況が改善するかは分かりませんが、少なくともどのような規制を設ければ汚染を軽減できるかを考える必要はありそうです。

大気汚染については中々個人の取り組みでの改善は難しいので企業や国の単位で取り組む必要があります。今ベトナムが目標としている近代的な都市づくりの中でこういった環境の改善にも期待をしたいところです。

本ニュースレターに関するご要望、ご意見、その他弊社人材に関するお問い合わせは左記の連絡先または [info@hr-link.jp](mailto:info@hr-link.jp) までお願いいたします。